



VOL.55 winter

2009年12月28日



編集／釜石市総務企画部少子化対策・男女共同参画推進室

〒 026-0024 釜石市大町 3-8-3 青葉ビル

TEL/FAX ; 0193-22-6002

URL ; <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>

E-mail ; Syousi@city.kamaishi.iwate.jp

◎特集

「釜石市子育て応援企業認定制度」

◎報告

「釜石市男女共同参画まちづくり市民大学」

「男女共同参画サポーター養成講座」

「思春期講演会」

◎さんかくニュース

「『いわて女性のつどい』の開催」

「『釜石市次世代育成支援後期行動計画（案）』意見募集」

◎インフォメーション

「三鉄恋レール『婚活応援企画列車／冬』」

「れでいす・ねっとわーく」ほか

特集 ワーク・ライフ・バランスを推進しましょう!! 釜石市子育て応援企業認定制度

釜石市では「ふるさとに活力を」「子どもに未来を」「市民にやさしさを」という3つの基本姿勢の下、少子化対策を市の重点課題の1つに掲げ、「結婚」「出産」「子育て」「教育」「自立」そして「結婚」へと繋がる、家族の周期な適った施策をあらゆる方向から展開しています。

こうした中、少子高齢化の急激な進行により、働く女性の負担が大きくなるにつれて、社会全体で子育てや介護を支え合うとともに、男性も含めて働き方の見直しを行い、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進しようとする機運が高まっています。

このため市では、仕事と子育ての両立支援や男女がともに働きやすい環境の整備など、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する取り組みを積極的に進める企業を「釜石市子育て応援企業」として認定し、当該企業が社会的に評価される仕組みをつくることで、企業の自主的な取り組みを促すとともに、子育て家庭が地域全体から応援されていることを実感できるまちづくりを進めるため、11月1日から「釜石市子育て応援企業認定制度」をスタートさせました。

今号では『釜石市子育て応援企業認定制度』を特集します。



1. 制度の概要

「子育て応援に関する理念・方針」を掲げ、以下の認定基準項目のいずれかに適合する企業を申請により受け付け、審査を行い、認定基準を満たすと認められる場合は、当該企業を「釜石市子育て応援企業」として認定し、認定書を交付します。

認定基準項目	
1	育児・介護休業法で定める「休業制度」「時間外労働の制限」「深夜業の制限」「勤務時間の短縮等」について、当該法律の規定を上回る制度を設けている。
2	妊娠、出産、育児、又は介護を理由として退職した者に対し、再雇用の措置を講じている。
3	育児休業、又は介護休業期間中の者に対し、職場復帰支援等の措置を講じている。
4	年次有給休暇の取得の促進、及び所定外労働の削減に向けた措置を講じている。
5	事業所内託児施設を設置している。
6	そのほか、仕事と生活の調和推進に関する特徴的な取り組みを講じている。

2. 申請できる企業

市内に本社又は事務所を構え、市内において事業活動を行う法人（国及び地方公共団体は除く）

3. 申請受付期間

通年受け付けております。

4. 認定期間等

1度受けた認定は継続されますが、2年に1度、認定に係る取組状況を報告することとなります。また、認定基準を満たさなくなったときや、認定継続の意思を失ったときは、認定辞退の届出書を提出することとなります。

5. 認定企業のメリット

認定企業の取り組みを、広報かまいしや市ホームページ等に掲載、広く市民に周知することで、子育て家庭並びに社員にやさしい企業としての対外的イメージアップが図られます。

国の次世代育成支援対策推進法によって、平成23年4月1日以降は、従業員が101人以上300人以下の企業も、一般事業主行動計画の策定が義務付けられます。これを機に、地域や職場における子育て環境を考えてみませんか？

【お問い合わせ】 釜石市総務企画部少子化対策・男女共同参画推進室（TEL/FAX 0193-22-6002）

報告 1 男女共同参画まちづくり市民大学

市では、これまで個別に実施してきた男女共同参画フォーラムや男女共同参画展、各種講演会等を統合し、本年11月から12月にかけて3回シリーズの講座で構成する「釜石市男女共同参画まちづくり市民大学」を新規事業として開催しました。

計25人の受講申込みをもって11月7日にスタートし、ジェンダー（社会的性別）やドメスティック・バイオレンス（配偶者等からの暴力）、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）など、男女共同参画社会形成に関する基礎知識を学習しました。

11月21日に公開講座として開催した「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」には、市内外から約120人の参加を得られ、参加者個人のスキルアップが図られました。

最終日の12月5日には、全ての講座を受講した10人の方々が修了書を手にし、地域における男女共同参画推進に向けて、決意を新たにしました。

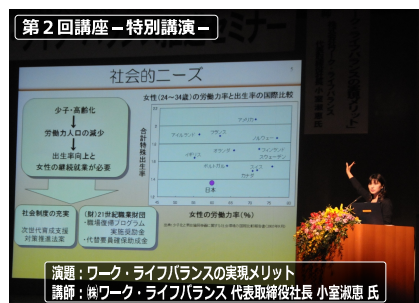
講師のみなさま、ありがとうございました。



第1回講座
演題：誰もが生き生き暮らせる社会をめざして～男女共同参画の視点から～
講師：若手県男女共同参画センター 事業担当チーフ 藤原美妃子 氏



第3回講座
演題：「安心して私らしく生きるために」～女性の人権を考える～
講師：もりおか女性センター センター長 平賀圭子 氏



第2回講座-特別講演-
演題：ワーク・ライフ・バランスの実現メリット
講師：㈱ワーク・ライフ・バランス 代表取締役社長 小室淑恵 氏



第2回講座-事例発表-
演題：当法人の子育て応援について
講師：社会福祉法人愛泉会 常任理事 伊藤道夫 氏



閉講式-修了書授与-
市山崎総務企画部長から修了書を受け取る
修了者代表の太田フジ江さん

報告 2

思春期講演会



去る11月16日、釜石中学校と大平中学校において、思春期講演会を開催しました。

釜石中学校では岩手県立大船渡病院副院長兼医療研修科長の小笠原敏浩先生に、大平中学校では市保健師の植田幸子さんにそれぞれ講師を務めて頂きました。

男女共同参画の推進には、次代を担う子ども達の育成が重要です。今回開催した本講演会を通じ、思春期の子どもたちが性と生命を尊重しつつ、自己管理・自己決定できる人間に育っていくことを期待します。

報告 3

男女共同参画サポーター養成講座

平成21年度男女共同参画サポーター養成講座が、5月から11月までのあいだ開催されました。

釜石市からは桑畑幸子さんと鱒沢トモ子さんの2人が受講し、晴れて新しいサポーターの仲間入りを果たしました。

あらためて、釜石市のサポーターをご紹介します。

岩切久仁さん（小佐野町）
久保道子さん（大字平町）
昆智恵子さん（東前町）
小笠原梓さん（嬉石町）
桑畑幸子さん（只越町）
生田久美子さん（定内町）
中平貴之さん（橋野町）

太田フジ江さん（大平町）
清水静枝さん（甲子町）
石垣邦子さん（鶴住居町）
小笠原幸雄さん（橋野町）
鱒沢トモ子さん（野田町）
千葉裕美子さん（唐丹町）
計13人



県～ 平成21年度「いわて女性のつどい」の開催

岩手県と岩手女性団体連絡会は、平成22年2月3日（水）10：30～14：30、盛岡市民文化ホール大ホール（マリオス）において、「男女が共に人間らしく生きるために、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を目指して」をテーマに、「いわて女性のつどい」を開催します。

詳細については、岩手県青少年・男女共同参画課（電話：019-629-5346）にお問い合わせください。

市～ 「釜石市次世代育成支援後期行動計画（案）」意見募集

釜石市では、子どもと家族を大切にする視点に立って、子どもを家族が育み、家族を地域社会が支えるという意識醸成に取り組むとともに、結婚、出産、子育て、教育、自立とつながる家族の周期の中で、切れ目のない効果的な施策体系を構築し、誰もが安心して生み育てることができるまちづくりを目指し、「釜石市次世代育成支援後期行動計画」を策定します。

皆さまの意見をお寄せください。

■ 意見を提出できる方 ・市内に住所がある方 ・市内に事務所などを持っている個人、法人など ・市内の事務所または事業所に勤務している方 ・市内の学校に通学している方 ■ 記載内容 ・提出する意見とその理由（計画書のどの部分に対する意見かを記載のこと） ・住所、氏名（法人、団体はその名称）、電話番号（連絡先） ※市外の人は勤務先（通学先）も記載	■ 提出方法 市広聴広報課あてに、以下の方法で提出してください。 ・郵送（〒026-8686 住所不要）または直接持参 ・FAX（0193-22-2686） ・電子メール（koutyou@city.kamaishi.iwate.jp） ・市のホームページ「意見募集制度」の入力フォーム （http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/10,0,88,376.html） ・「みんなの声の箱」への投函 ■ 「釜石市次世代育成支援後期行動計画（案）」の備え付け場所 市広聴広報課、市少子化対策・男女共同参画推進室、市市民課、中妻出張所、各地区生活応援センター ※市のホームページでも閲覧できます。
--	---

詳細については、市少子化対策・男女共同参画推進室（電話：0193-22-6002）にお問い合わせください。

INFORMATION

新しい出会いを探してみませんか？

三鉄恋レール「婚活応援企画列車／冬」

三鉄ツーリストでは、独身男女に出会いの場を提供するため、「婚活応援企画列車／冬」と題し、レトロ列車を運行します。

興味がある独身男性、独身女性の方のお申し込みをお待ちしております。

- ◇開催日：平成22年1月23日（土）
- ◇列車時間：釜石駅14：00頃発 ～ 釜石駅16：25頃着
- ◇行 程：釜石駅 ～ 盛駅（往復）
- ◇参加費：・男性3,000円 ・女性2,000円
- ◇募集人員：・男性18名 ・女性12名
- ◇申込期限：平成22年1月15日（金）



■ 問合せ・お申し込み先 ■
三鉄ツーリスト（電話：0193-64-0088）
取次駅 三陸鉄道釜石駅（電話：0193-22-1616）

情報・アイデア 募集中！！

市少子化対策・男女共同参画推進室では、**れでいす・ねっとわーく**掲載用の情報・アイデアを随時募集しています。

【お問い合わせ】

市少子化対策・男女共同参画推進室
TEL/FAX：0193-22-6002
E-mail ↓↓↓
Syousi@city.kamaishi.iwate.jp
件名に「れでいす・ねっとわーく宛」とご記入ください。）



早いもので、今年もあと数日です。ワーク・ライフ・バランスの実現は今年も無理でしたが、小室さんの講演会が成功であったことなどから「ワーク・ライフ・バランス」を広めることはできたと思っています。来年はもっといい年でありたいように。

（K. I）

小室淑恵さんの講演をお聞きした。昨年に続き2度目の聴講だが、さらに分かりやすく、パワーアップした内容となっていた。常に改善、改良の精神を持ち、しかもそれを楽しんで実行している。成功談だけでなく世界の違う人の話と一蹴されるだろうが、そこへたどり着く過程には我々と等身大の失敗談が語られるから、共感する人も多いことだろう。発想を変えることによって、楽しく生活できることを学んだので、さっそく実践し、自分なりに小さな満足感を得ている年の瀬である。

（Y. C）

最近マヤ暦を題材にした「2012」という人類滅亡の映画が上映されていますが、設定上の日まであと3年足らずです。この頃を世紀末とする話として、フォトンベルトやファチマ第3予言などいくつか聞いたことがあります。実際起こらないと思いますが、誰かが故意に起こすなら話は別。そうならないことを願います。

（T. N）